

2019年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件(通常枠)のご報告 (2018年度は[こちら](#))

7件(順不同)

団体名	特活) World Theater Project
事業名	カンボジア：子どもたちの健やかな未来のために。薬物防止啓蒙映像制作及び同映像の移動映画館による上映事業
活動地域	カンボジア王国
活動概要	カンボジアの貧困地域にて週に1-2回子ども達を対象に移動映画館を行い、地元警察が連携して上映前に薬物防止の講義を行ってきたが、全ての上映会に警察官が帯同することは難しいため、基金を通じて薬物使用防止のための映像を制作する。同制作にあたっては地元警察の協力を得、現地でインタビューも実施し、より効果的に薬物の危険さを伝えられるよう工夫。移動映画館にて本編上映前に流すことで、薬物使用を防止するための啓蒙機会を提供し、子ども達が薬物に溺れることなく、良質の映画から得られる多くの夢や情報をもとに、希望を持って自らの将来を切り拓けるよう取り組む。
支援予定額	880,000円

団体名	特活) 礎の石孤児院
事業名	ザンビア共和国:孤児およびストリートチルドレンのための奨学金支援事業
活動地域	ザンビア共和国
活動概要	ザンビアでは、HIV・貧困のために両親を亡くした孤児の救済が長年の課題であるため、孤児院や学校等を設立し、入所児の生活・保健・教育に関する支援事業を展開してきた。“現金”が必要とされる教育は、保護者の経済を圧迫することから、孤児が親戚をたらい回しにされる事例が多々あるため、基金を通じた学資支援によって、その心理的経済的負担を防ぎ、孤児が安定した環境で安心して教育を受けられる機会を提供する。また、ストリートチルドレンに関しては、空腹からドラッグへの欲求を誘発しないよう、学資に加えて給食の支給やカウンセリングを実施し、モチベーションを高めながら勉学に集中できるよう教育環境の整備をする。
支援予定額	996,000円

団体名	特活) 日本ボリビア人協会
事業名	アルパカプロジェクト～ボリビアと在日ボリビア人女性の元気、生きがいのためのビジネス創出
活動地域	ボリビア多民族国・日本
活動概要	ボリビアの貧困層が生産するアルパカ毛を日本で製品化し販路拡大することで、現地住民の収入を増やし、生活水準の向上に繋げると共に、在日ボリビア人による製品制作を通じて、現状の問題（高齢化による就労機会の減少、生きがいづくり等）の改善を目指す。ボリビアでのアルパカ毛の品質向上、日本人が手に取りやすいデザインの商品開発、作り手である在日ボリビア人のスキルアップといった課題解決のため、専門家の力も借りながら現地グループと協働で商品開発にあたり、在日ボリビア人への製作指導を実施。日本でのボリビア文化の普及にも努める。
支援予定額	990,000円

団体名	NGOネパール『虹の家』
事業名	ネパール 2015年ネパール大地震 被災地の子どもたちと女性たちのための復興コミュニティづくり支援活動 テーマ ～未来の種を育てましょう～ スンダル パビセコ ヨジャナ
活動地域	ネパール連邦民主共和国
活動概要	2015年の大地震で被災したカトマンズ郡サヌタリ村の子どもたちと家族のための復興コミュニティづくりも転換期を迎え、同村から挙げた有機作物栽培と地域の学校給食への食材提供計画をもとに「新サヌタリ村プロジェクト」を策定。食の安定化と従事する女性への対価創出を目指す。 併行して、「教育支援（教育費支給）」や「スクールプロジェクト（学習環境づくり）」「女性の自立支援（職業訓練）」事業を継続し、さらに健康診断や健康の基礎学習・給食提供といった健康面の支援も加え、「農業～有機作物栽培と学校給食サポートプログラム」を進める。
支援予定額	980,000円

団体名	コーヒー生産地と協働する会
事業名	コーヒー生産地における持続的生産にむけた土壌改良及びポテト臭解決のための支援
活動地域	ルワンダ共和国
活動概要	ルワンダにおいて持続可能なコーヒー生産を通じ生産地の人々の生活の安定を図るため、一部農家を対象に、土壌改良やシェードツリーの植え付け指導等を実施。珈琲会社の協力も得つつ、2018年には収量増加の成果を遂げたものの、土壌の養分条件を十分に考慮した上での施肥ができていないため、基金を通じて土壌の化学的・物理的状況を客観的に評価し、農家の経済状況でも手が出やすい土壌改良方法を立案する。持続的な土壌利用のため、土壌調査（養分・物理性）から施肥計画、結果考察までの流れを現地生産者間で習慣づけられるよう支援すると共に、ポテト臭解決のため有効とされている紫外線を用いた豆の選別効果も検証する。
支援予定額	699,575円

団体名	マナラボ 環境と平和の学びデザイン
事業名	「小規模農家の手で美味しいコーヒーを生産しよう！」 コーヒー小規模生産者組合を対象とした収穫後の加工機器の設置と運営指導
活動地域	フィリピン共和国
活動概要	先住民の多くが貧困層にあるルソン島北部山岳地方にて、現地NGOと協働でアラビカ・コーヒーのアグロフォレストリーによる植林事業を実施しているが、収穫後の加工に必要な設備やコーヒー生豆の品質に関する知識・技術のある人材不足等が浮き彫りとなっており、先住民の貧困削減の阻害要因にもなっている。その課題解決のため、対象の農業組合へ収穫後の手動皮むき機の支給、乾燥台のための資材支給を行うと共に、良質なコーヒーを生産するための技術指導、受益者である農業組合の機器運用に役立つ講習会を実施し、組合が共同して加工と乾燥を行い、適正な価格で市場に販売、安定した収入が得られるよう支援する。
支援予定額	1,000,000円

団体名	POMk Project
事業名	インドネシア：西ヌサトゥンガラ州中央ロンボク郡・Jonggat地区教員に対する健康教育支援事業
活動地域	インドネシア共和国
活動概要	西ヌサトゥンガラ州は、国内で最も高い乳幼児死亡率を記録する他、2018年にM7以上の地震が3回発生し、避難生活を続ける被災者も多く、貧困・健康にかかる支援のニーズが最も高い地域といえる。住民が病気予防や治療の判断をするにも、最低限の健康に関する知識が必要となるため、まずは現地初等中等教育の教員の協力を得て、現状把握とニーズ調査を実施する他、現地教員自らが健康教育を効果的に行えるよう、体験型学習会のノウハウ（福笑い、カードゲームや身近なもので作れる模型作成等）を技術移転し、子供たちをはじめとする地域住民が、健康に関する知識を活用できるようにする。
支援予定額	1,000,000円

2018年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告（2017年度は[こちら](#)）

10件（順不同）

団体名	耕志の会
事業名	インドネシア：西ジャワ州スメダン県とバンドゥン県における小規模農家の持続可能なコーヒー栽培のための研修事業
活動地域	インドネシア共和国
活動概要	2016年度JICA基金の採択事業で行った、小規模農家の研修会を経て、農家たちは持続的に安定した収入を得、さらに環境に配慮した営農をするために、グループによるコーヒー栽培を目指している。現在、実習修了生が中心となり近隣の農家を集めてグループを作り、圃場や苗木などの資金は独自に準備している。先進的な環境配慮型のコーヒー栽培地を代表者たちが見学し、セミナー等を通じてグループメンバーや近隣の小規模農家へ持続可能な農業の支援を行う予定である。
支援予定額	448,823円

団体名	アジア歯科保健推進基金（AOHPF）
事業名	東ティモール「小児むし歯予防プログラム」
活動地域	東ティモール民主共和国
活動概要	東ティモールでは、6歳未満児の90%以上が平均6本の虫歯を有しており、ほとんどが未処置であった。2002年にインドネシアから独立した後発開発途上国で医療制度も不十分で、歯科医師は120万人の人口に僅か8人、抜歯専門のデンタルナース約50人がこの国の歯科医療を担っている。保健省に歯科担当課がなく、政策立案のできる歯科専門官もいない。むし歯を含む生活習慣病のコントロールには、住民自身の生活改善の努力と定期検診の制度、医師・歯科医師の意識改革が不可欠である。歯科疾患調査、調査結果の分析、疾病対策の協議などを通じて東ティモール歯科医師会を専門家集団として育てる。
支援予定額	1,000,000円

団体名	ニバルレキレ～I am special!～
事業名	南アフリカ共和国：貧困地区の若者と家族の問題解決の道標となるライフストーリーブックの作成
活動地域	南アフリカ共和国
活動概要	貧困地区の子どもや家族に配布する冊子「ライフストーリー」を住民とともに作成する。この冊子では①児童期～青年期のエイズ孤児、②被虐待の体験児、②薬物依存から回復した若者、③HIV陽性者や障がい者、④彼らの家族や住民を対象に、1) 個別インタビューによる生活史の聞き取り、2) グループ討議での苦難の克服体験の共有、3) 社会資源探しと一覧作成を行い、これらを一つの冊子にまとめる。冊子を一人でも多くの人へ配布することにより、地域で孤立している人が様々な生き方を知り問題解決の道標とする中で、社会資源情報をもとに学業や就業、支援につながることを、また支援者がコミュニティをより深く理解することを目指したい。
支援予定額	1,000,000円

団体名	NGOネパール『虹の家』
事業名	ネパール 2015年ネパール大地震被災地の子どもたちのための復興コミュニティづくりへの支援活動
活動地域	ネパール連邦民主共和国
活動概要	2015年の大地震で被災したカトマンズ郡サヌタリ村の子どもたちとその家族を引き続き、支援している。サヌタリ村住民は「子どもたちが安心して暮らし、学校へ通い、そして、震災前よりもクリーンな村にしたい」という目標を設定。当団体と共に復興コミュニティづくり「サヌタリプロジェクト」を策定。 <ul style="list-style-type: none"> ・2015年ネパール大地震で親を亡くした子どもたちの教育支援（教育費支援） ・被災地の復興コミュニティづくりへの支援活動（被災地の復興環境支援） ・被災地の学校への教育支援 および 図書教育活動支援（教育活動支援）
支援予定額	994,000円

団体名	日本ラテンアメリカ協力ネットワーク
事業名	グアテマラ ポアキルでの貧困削減のためのマイクロクレジット事業
活動地域	グアテマラ共和国
活動概要	対象地域は住民のほとんどが貧困層で、とりわけシングルマザーの家庭は極貧状態にある。物価の上昇で、生活は厳しくなる一方だ。しかし担保がないために通常の金融機関からの融資を受けられない、あるいは受けられても利子が高すぎて返済できないなど、貧しい女性たちが融資を受けるのはほとんど不可能である。現在行っているマイクロクレジット事業は、大きな成果を上げていますが、原資が少ないために融資できる人数が限られている。また、一人の女性が収入をあげ家計を安定させるには数年にわたる融資が必要である。「世界の人びとのためのJICA基金」を継続できれば、さらに12人の女性へのマイクロクレジットを実施することが可能となり、地域の貧困削減に貢献できる。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人ミランクラブジャパン
事業名	ネパール大地震で被災した子ども達への奨学金支援事業
活動地域	ネパール連邦民主共和国
活動概要	2015年4月の大地震から2年以上経った今でも政府の支援が停滞して被災者はトタン板等の仮住宅で暮らすことを余儀なくされている。特に教育への支援は十分でなく、教育の機会を失われた子ども達はつらい生活を強いられている。当団体は地震直後から義援金募集、被災地支援プロジェクトを立ち上げ継続的に実施。また、「2015年度・2016年度JICA基金」で就学困難な被災者に奨学金提供ができ学業継続の課題に取り組んだ。今後も被災した子ども達の奨学金提供で長期的な支援を続けたい。会費収入による「ミラン奨学金」の運用とともに奨学金の財源確保に取り組む。(ミランオリジナル製品プロジェクト、ミラン貯金箱の普及等)
支援予定額	1,000,000円

団体名	NPO法人学び舎つばさ
事業名	ベトナム貧困地域における、子どもたちへの日本語教育支援事業
活動地域	ベトナム社会主義共和国
活動概要	ベトナムにはチャム族と呼ばれる少数民族が多い地域があり、牧畜以外に仕事がほとんどない貧困層が多い。経済的に日本語学校に通うことが難しい若者が、現地で日本語を学ぶことができれば、就職、さらには経済的に自立するための選択肢が広がることから、2016年6月にファンラン村で日本語学校を開校したが、開校から1年以上過ぎた現状において、日本語教師(ベトナム人)のスキル不足が浮き彫りになってきた。これまでは、テレビ電話や電子メール等でサポートしてきたが、2018年6月から1年間、日本人教師を現地に派遣するとともに、今後も安定的に日本語教師を育成できるようなプログラムと日本語学校の教材を作成したい。
支援予定額	1,000,000円

団体名	国際ボランティア非営利団体Daredemo Hero
事業名	フィリピン：セブの貧困層からリーダー育成！ 貧困問題の根本的解決を目指して
活動地域	フィリピン共和国
活動概要	貧困層からリーダーを生み出すことで、この国の貧困問題を根本的に解決することを目的に活動しています。フィリピンの公立学校は無料ということになっていますが、学期の始めに文房具を揃える必要があり、そのお金を用意できず学校に行くことができない子供が多くいます。また給食の制度がないため、昼食を用意できない子供は空腹で授業に集中することができません。家にパソコンがないため課題を提出できない子供もいます。当団体は勉強したい子供たちが、貧困のために頓挫することがないように、給食の提供、学習環境の整備、補習授業、奨学金の支給等で支援しています。この度活動の規模を拡大し、さらに多くの子供たちに教育機会の提供を目指します。
支援予定額	1,000,000円

団体名	ハイチ友の会
事業名	ハイチ マイクロクレジットを通じたモリンガ栽培・加工促進事業
活動地域	ハイチ共和国
活動概要	2016年度に実施したモリンガの栽培促進活動では、技術研修をし種や枝を供与したところ、研修を受けた小農民の多くが種まきを始める意思を示したが、事業終了後のモニタリングでは、期待通りにモリンガ栽培が広がっていないことが確認された。土壌整備や栽培作業を手伝う人に支払う初期費用がないため、融資があればモリンガ栽培を開始すると意欲を見せる農家は50戸確認された。農民や灌漑組合の自助努力を後押ししながら、モリンガの栽培から加工・販売までの一連の流れを支援する。大きく次の4つの柱から構成される。1) マイクロクレジット運営管理能力の強化、2) モリンガ栽培・収穫・加工技術の向上、3) 加工施設の整備、および4) マーケティング準備である。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人Living in Peace
事業名	カンボジア、フィリピン、インドネシア マイクロファイナンス機関向け教育事業
活動地域	カンボジア王国、フィリピン共和国、インドネシア共和国
活動概要	LIPは過去10年間にわたり日本の投資家から募ったお金を途上国のMFIに提供する事業を展開してきた。継続的な資金提供を通じたMFIのマイクロクレジット事業を支援することで、現地の人々への少額資金の融通を喚起しひいては現地の貧困削減に資するという信念の元、活動を行ってきた。さらにMFIの事業の質を高めるためMFIスタッフ向けの教育プログラムの提供を予定している。LIPの既存事業であるMFI向けの資金提供との相乗効果によりMFIの事業を通じた活動国の貧困削減を目指す。全員プロボノで多様な専門性を持っているという組織の強みを生かした教育プログラムを提供予定である。
支援予定額	968,000円

2017年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2016年度は[こちら](#))

12件(順不同)

団体名	ハイチの会
事業名	「自立した学校給食の継続」を目的とする農産物生産支援事業
活動地域	ハイチ共和国
活動概要	2002年からKFP『住民家族共同体』を設立し、今日まで命を守る目的で自給自足を目標の農業支援と、教育支援として当該地区では初めての教育施設の学校建設と維持を行う活動をしている。1日1食を得ることさえ難しい地域で、学校給食を自力で持続させるには、農産物の生産を向上させなければならない。当事業ではハイチ人が元来食糧としていたトウモロコシやキャッサバを主にした農業を行い、更に比較的飼育の簡単な鶏やヤギ、畜産指導済のウシを購入して蛋白質の補充を行う。
支援予定額	935,180円

団体名	一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン
事業名	カンボジアにおける米作に向かない貧困地域での畜産業による収入獲得を目指すためのスキルアップ推進事業
活動地域	カンボジア王国
活動概要	事業実施地区はこれまで幾度となく干ばつや洪水被害に見舞われており貧しい農村の村である(世帯当たり年間所得300ドル未満)。当団体では、2015年11月からポップイ村を対象にした貧困救済支援(畜産による村全体のQOL向上)を開始した。村の人々の畜産に対する理解向上、飼育環境の改善、飼育担当者のスキルアップを行うことによって、養豚・育牛の事業を正しい方向へと導く事で持続可能な事業運営が可能となる。
支援予定額	949,900円

団体名	Upple
事業名	カンボジアコッカエル村における貧困層の子どもたちへの伴奏型教育支援事業
活動地域	カンボジア王国
活動概要	コッカエル村(プノンペン南45km)は、現在国の事業で道路拡張が進み、補償のない立ち退きによる貧困が村全体として進んでいる状況がある。そんな中、貧困層の子どもたちへの教育の場の保障を理念に活動を続けてきたNGO団体CIFT0の存続の危機が訪れ、団体の再建が必要不可欠となっている。そこで、現地スタッフを雇用し、「ニーズ調査」「教育の場の保障」「新しい仕事づくり」の3つの柱で活動を展開し、NGO団体CIFT0が自活しつつ、外部資金の確保と共に村の貧困がこれ以上負の連鎖で進行しないような取り組みを実施する。
支援予定額	759,840円

団体名	特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
事業名	フェアトレードを通じたベトナムと新潟のハッピーリンクプロジェクト
活動地域	ベトナム社会主義共和国
活動概要	ベトナムにあるシェルターにおいて利用者である女兒達に縫製技術を身につけてもらい、社会的弱者である女兒の将来的な自立と地位向上を実現する。シェルター利用する女兒達が将来成人し、施設を出た時に自立して生活して行くために縫製技術を習得させる。2014年にシェルター利用する女兒達から、将来成人するに伴い施設を出た時に自立して生活して行くために縫製技術を習得したいと希望が寄せられ、約2年に渡って支援してきた。今後は出来上がった製品を買い取り、日本で販売するというフェアトレード事業を開始するべく更なる技術指導やマーケット開拓に向けて取り組む。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人アジア植林友好協会
事業名	インドネシアバリ島火山爆発被災地の水源涵養林再生植林事業
活動地域	インドネシア共和国
活動概要	バリ州のバンリ県キンタマニー郡バツウール山の火山爆発被災地にあるバリの島民の水瓶「バツウール湖」の水位が低下し、水源涵養の為に森林再生必要となったため、2007年から現在まで植林協力を実施してきた（累計約96千本）。現在までのところ活着して育っているが周りは火山礫だけの土地なので、活着した苗が成長するために植林木周辺に草類が育つように客土の範囲を拡大して山土を散布し、すでに植林した苗木の生育をサポートする。この施工により植林地への草本類や灌木類の発生により多様性の豊かなエリアとして再生ができる。
支援予定額	980,000円

団体名	NPO法人 Treasures of The Planet
事業名	ラオスの少年少女たちのための交通安全教育ビデオの制作と上映
活動地域	ラオス人民民主共和国
活動概要	ラオスでは、毎年人口数は増加し死亡者数は減少してきているが、交通事故による死亡者数は増加している。ラオスの交通ルールでは、バイクの運転は18歳以上からとなっているが、明らかに18歳以下の少年・少女たちが、2人乗りや携帯電話を使いながらバイクを運転している。日本が1960, 70年代にかけて経験した悲痛な交通事故の悲劇を開発途上国の人々が繰り返さないために、ビエンチャンの少年少女たちに交通事故問題を認識させる教育ビデオやアプリを制作し、配布して行く。
支援予定額	790,000円

団体名	特定非営利活動法人 LOOB JAPAN
事業名	イロイロ市貧困地区における裁縫事業と教育支援
活動地域	フィリピン共和国
活動概要	パナイ島のイロイロ市では、空港から市内に続く幹線道路の拡張工事が進んだことに伴い、住居を持たず路上生活をしてきた先住民族30世帯（約180人）が、郊外のラニット村に移転されることになった。先住民らは学歴が低く、都市では路上生活または資源ごみを回収するなどして日銭を稼ぐ者が多かったが、再定住区は都心から遠く、職業技術を持たない彼らは現在も職がないままである。本事業では、成人への裁縫による生計支援（母親10名）、子どもへの教育支援（7歳から15歳まで約10名）という二つのプログラムを実施する。
支援予定額	961,400円

団体名	EDAYA
事業名	フィリピン僻地農村出身の若者を対象とした、リーダー育成のための教育と生活向上を視野に入れた就職・起業支援
活動地域	フィリピン共和国
活動概要	フィリピン・ルソン島北部山岳先住民族の若者を対象とした、リーダー育成と生活向上を視野に入れた就職・起業支援の事業を提案する。具体的には、ハンズオンでの研修を半年×2回実施し、1年で計10名の農村発展に貢献する研修生を育成するとともに、研修で得られたスキルを実際に生活向上につなげていけるよう、半年の期間中に就職・起業支援までを行う。この地域では、大学卒業後も鉱山労働者や出稼ぎ労働者となる若者が非常に多く、学びを生かす機会を見つけることのできないまま、頭脳流出や労働力流出が起これ、農村が疲弊しているため、この現状を改善する。
支援予定額	956,340円

団体名	一般社団法人コモン・ニジェール
事業名	ニジェール共和国 クオラテギ村の寺子屋を軸とした生活改善に向けたコミュニティ調査事業
活動地域	ニジェール共和国
活動概要	2015年4月より運営している寺子屋を軸とした村全体の生活改善を目指す。村民がいずれ寺子屋を自分たちで運営し、将来的には寺子屋も不要となり、子供たちが家業の手伝いをせずに小学校に就学できるような経済環境を創り上げる為に、村全体の経済的底上げと教育重視の意識啓蒙を図ることが必要である。子供達の就学を阻む様々な要因が何であるか、村の生活向上と安定に足りない要素は何か、定性・定量の両方の調査を行い、村全体の状況をより正確かつ詳細に把握し、戦略的に生活改善策を図る。
支援予定額	969,906円

団体名	特定非営利活動法人国際交流の会とよなか（TIFA）
事業名	ネパール・サクー村の訓練センターの拡充と人材育成
活動地域	ネパール連邦民主共和国
活動概要	ネパール・サクー村の農村女性の自立支援活動を支援してきたが、2015年に起きた大地震により、サクー村は家屋のほとんどが崩壊し、村人は仮設小屋での生活を続けている。これまで、畑仕事と家事を支えてきた女性たちがミシン縫製技術を習得し、またネパールの伝統的織物であるダカ織の技術を高め、これらの作品をサクー村のオリジナル製品として市場に出すことで一定の収入を得ていくことを目指して活動を行ってきた。本事業では、作業場を広くして効果的に作業できる環境をつくとともに、作業者の技能を高め、より質の高い製品づくりを目指す。
支援予定額	464,777円

団体名	NGO安全管理イニシアティブ（JaNISS）
事業名	日本のNGOの安全管理者向け研修の実施環境整備事業
活動地域	日本国内
活動概要	近年世界各地での治安の悪化により、人道支援のみならず開発支援の事業地でも、支援を届けるためにはより高度な安全管理が必要となっている。本提案事業では、安全管理者向け研修のトレーナー研修を開催した上で、研修済みのトレーナーが研修素材のローカライゼーションを行う活動を実施する。さらに研修済みトレーナーが補佐を務める形で、同研修を実施することで、スキルの向上と定着を図る。さらにこの研修に、地方の団体の参加を促すことで、この研修の必要性について、地方の団体の間での理解の広がりも促進する。
支援予定額	1,000,000円

団体名	市民ネットワーク for TICAD
事業名	NGOのパワーをTICADへーアフリカ啓発・提言事業
活動地域	日本国内
活動概要	アフリカでは依然として保健や食料、水と衛生、気候変動等脆弱な貧困層が影響を受けている課題が多く、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けても草の根の取組みが必要であり、ビジネスおよびTICADのパートナーとして市民社会が積極的に位置づけられることが求められる。かかる背景から、本事業ではアフリカで活動するNGOリストを作成して連続セミナー等を実施し、市民社会を可視化することでアフリカに取り組む政府、企業、市民社会のネットワークの強化に努める。
支援予定額	990,500円

2016年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告（2015年度は[こちら](#)）

16件（順不同）

団体名	モザンビークのいのちをつなぐ会
事業名	モザンビーク共和国 スラムの学舎・寺子屋の設備運営基盤構築
活動地域	モザンビーク共和国
活動概要	モザンビークの貧困層が生き抜くために必要な「知識と知恵」を日本との協力によって注ぎ、住民一人ひとりが自らの力で問題を解決能できるサポートをしている。主に教育と健康、環境等のQOLの向上に努める。最終目標としては、同じ世界に生きる人々の生命の尊厳が尊重できる社会づくり、「今日を生きるから未来に生きる」ことが可能なコミュニティ社会の形成である。
支援予定額	806,219円

団体名	NPO法人「飛んでけ車いす」の会
事業名	車いす修理・整備講座 in Bali
活動地域	インドネシア共和国
活動概要	設立18年目を迎え、これまでに届けた車いすは78か国2600台に上る。バリ島にも、インドネシア製の大人用車いすはあるものの、重たく使い勝手が悪く、壊れやすい。そこで、壊れた車いすの修理と整備を学べる講座を設定して、できるだけ現地の材料を活かしながら、修理・整備技術をバリ島の障がい者たちに伝えたい。技術を正しく伝え、より長く安全に車いすを使用してもらえ環境を作りたいと考えたとともに、障がい者の自立事業の一つに「車いすのメンテナンス」を入れることができることを目的とする。
支援予定額	1,000,000円

団体名	認定NPO法人 ザンビアの辺地医療を支援する会
事業名	ルアノ地区でのマラリア蚊殺虫剤噴霧活動
実施国	ザンビア共和国
活動概要	ヘルスセンターやヘルスポストなどの医療施設まで、歩いて半日から数時間かかる辺地に、定期的に巡回診療を地区住民の協力のもと実施し、基本的な医療、妊婦健診、家族計画などを届け、住民の健康・衛生状況の改善を図ることを目的としている。その中でルアノ地区では、啓発活動などを通じてマラリア予防の蚊帳を配布しているが、未だマラリアの罹患率は高い。原因となるマラリア発生を予防するために、ルアノ地区全村でマラリア蚊殺虫剤噴霧の実施を計画している。
支援予定額	866,600円

団体名	特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
事業名	ネパール大地震で被災した子ども達への奨学金支援事業
実施国	ネパール連邦民主共和国
活動概要	ネパールはアジア最貧国の1つで子ども達の教育には多くの課題がある。それに追い打ちをかけるように2015年4月に大地震がネパールを襲い、多くの犠牲者と建物の全半壊で甚大な被害となった。地震から1年経った今でも政府の支援が停滞して被災者はトタン板などの仮の住宅で暮らすことを余儀なくされている。当会の主たる『経済的に恵まれない女子の就学支援』事業に加え、被災した子ども達に長期的な支援を続けたい。
支援予定額	1,000,000円

団体名	耕志の会 (Yayasan kuncup harapan tani)
事業名	インドネシア・スメダン県における小規模農家の持続可能な農業のための人材育成事業
実施国	インドネシア共和国
活動概要	経済成長著しいインドネシアでは、都市と地方、地主と小規模農家の経済格差が広がりつつある。その格差解消のために、当団体では農園たやの技能実習生に農業ビジネス学習機会を提供し、技術指導を行っている。また実習修了生の農業ビジネスの起業支援を目的として、巡回指導やネット会議を行い、マイクロファイナンスの仕組みも準備してきた。また日伊双方の農家交流も促進し、活力ある地域づくりへの貢献を目指したい。
支援予定額	590,556円

団体名	特定非営利活動法人 Seed to Table～ひと・しぜん・くらしつながる～
事業名	ベトナム北部山岳地域における地域の自然と文化を活かした住民主体の村づくり
実施国	ベトナム社会主義共和国
活動概要	近年の目覚ましい経済発展やインフラ整備によって、恩恵を受けつつも、暮らしに様々な負の影響が出ているベトナム北部山岳地域・ホアビン省に住むムオン民族を対象として、地域の自然や生物多様性、そして、伝統や食文化を守り、その素晴らしさを外部の人々に紹介しながら、自ら暮らしを改善していけるようになることを目的としている。具体的な活動内容は、①有機農業の実践、②住民主体のエコツーリズムの運営体制づくり、③環境衛生の改善のための家畜小屋、トイレ、ゴミ箱の設置、④各種会合である。
支援予定額	1,000,000円

団体名	ハイチ友の会
事業名	ハイチ国立公園植林事業
実施国	ハイチ共和国
活動概要	森林破壊はハイチにおいて人命を脅かす大きな環境問題であり、かつ国の主要な産業である農業の発展を阻害する要因でもある。森林伐採の主な原因は、国民のほとんどが調理用燃料として木炭や薪を使用していることであり、近年の人口増加に伴い木材燃料の需要が増加し、その結果、ハイチの植被率はわずか2%まで減少した。この問題を深刻に受け止め、ハイチの環境問題の解決と貧困削減に寄与するため、代替燃料や代替調理器具の使用を推進するほか、植林の重要性を啓発し、植林の促進と森林伐採の抑制の両面から、森林破壊の問題解決に取り組んでいく。
支援予定額	1,000,000円

団体名	KESTES (Kenya Students' Education Scholarship)
事業名	ケニアにおける貧困層への中等教育向け奨学金支援事業
実施国	ケニア共和国
活動概要	ケニアのセカンダリースクールでは、成績、人格ともに優秀であり、次世代を担う貴重な人材となり得る生徒が、経済的な理由により学業を断念せざるをえない、という事例が数多くみられる。当団体の奨学金制度は、教育を通じたケニアの人材開発、社会発展を目的としている。これまで30年以上にわたり、のべ400名を超える生徒を支援し、奨学生の中からは博士号を取得し大学教授になる者や、児童支援団体を主宰する者もあり、支援の輪がまた新たな広がりをみせている。
支援予定額	797,423円

団体名	特定非営利活動法人 地球の木
事業名	ネパール少数民族の自立のための支援事業
実施国	ネパール連邦民主共和国
活動概要	少数民族が多いカブレ郡マンガルトール村は、村人の半数が経済的な問題を抱えている。子ども達に中等教育を受けさせることが課題解決の一步と考え、奨学金制度や教師の給与補助など教育を中心としたプログラムを行っている。奨学生は進学したり、教員として村や周辺の地域に職を得たり、地域活動のファシリテーターとしても活躍するようになった。小学校教師への給与補助で若者が働く場を作るなど、住民主体の生活改善プログラムを進める。
支援予定額	500,000円

団体名	NPO法人わびねず
事業名	インドハンセン病コロニーにおけるきのこ栽培及びプラバンアクセサリ製作トレーニングを通じた自立支援事業
実施国	インド
活動概要	差別され、故郷を追い出されたハンセン病の罹患者が集まり、定着した村をハンセン病コロニーといい、インド全土に800以上あるといわれている。コロニーに住む人々の多くは、収入が1日100円以下という貧困状態にある。ハンセン病快復者だけでなくその家族も差別の対象となり、就学や就労が困難なため貧困の連鎖が続いている。当団体は、ワークキャンプ事業によってインフラ整備と周辺住民の持つ差別意識の解消に取り組んできた。今後は就労支援事業を強化、拡大することでコロニーの人々の収入の安定化を目指す。
支援予定額	803,000円

団体名	特定非営利活動法人 アジアを紡ぐ会
事業名	社会的貧困女性による縫製事業（MAHAMU）の持続性強化を支えるための支援事業
実施国	スリランカ民主社会主義共和国
活動概要	当団体は、紛争地域における井戸建設と女性・幼稚園教育支援、また女性の現金収入支援を目的とした縫製技術・生産・販売支援と工房建設支援、現地NGOが実施する障害者通園施設への支援など主に女性や社会的困窮者等を中心に、活動を実施してきている。1998年から支援を実施している縫製支援で育成した講師（2名）による地域女性グループへの技術指導や地域内での持続性の高い縫製製品の生産・販売をすることで、女性の現金収入機会の創出と女性グループによる互助を組み合わせた形での生活改善を目指し地域の活性化につなげる。
支援予定額	988,280円

団体名	特定非営利活動法人 ひろしま・カンボジア市民交流会
事業名	カンボジア王国における貧困家庭の小中学生（いわゆる「ストリートチルドレン」を含む。）の教育・給食事業
実施国	カンボジア王国
活動概要	義務教育は無償となっているカンボジアであるが、今なお通学できない貧困層の子弟が多数存在している現状がある。それを少しでも解消するため、プノンペン市内に建設した、「ひろしまハウス」において、貧困層の子弟（ストリートチルドレンを含む）に対して、子どもの能力に応じた識字教育を含めた教育や給食事業を実施する。又、広島県民から寄贈された絵本約700冊をクメール語に翻訳、さらにカンボジア製絵本約150冊を含めた「こども図書館」として開館、現地児童の閲覧に供している。
支援予定額	999,639円

団体名	日本ラテンアメリカ協カネットワーク
事業名	グアテマラ ポアキルでの貧困削減のためのマイクロクレジット事業
実施国	グアテマラ共和国
活動概要	チマルテナンゴ県ポアキルはマヤ・カクチケル先住民が住む地域で、住民のほとんどは貧困層である。とりわけシングルマザーの家庭は極貧状態だ。2012年よりマヤ女性組織グアダルーペ協同組合を通じて、マイクロクレジット事業を支援している。受益者は受けた融資を、鶏や豚を飼ったり、織り物、コーヒーやオレンジ、葉草の栽培、小間物屋を開くなどして収益を得られるようにしている。事業が円滑に進んでいるかのモニタリングや研修を行い、品質管理や生産コストについて受益者のスキルを上げるようにしている。
支援予定額	999,372円

団体名	Bokk Jambaar (ボック・ジャンパール)
事業名	セネガル人女性の収入向上のために結成されたグループの裁縫技術向上及び販路拡大プロジェクト
実施国	セネガル共和国
活動概要	2005年に結成された女性グループ「Kébé sac」は、これまで10年以上に渡り手芸製品を作り、メンバーが収入を得る機会になっているが、受注は年に数回程度であり、安定した収入には繋がっておらず、団体の維持・管理費用の捻出に苦労している。今後、より高度な縫製技術を身につけることを目的とした技術研修の実施、受講生の基本的な裁縫技術の確認とレベルに応じた指導の下、より質の高い商品の製作とその販路確保を目指す。また講師は現地の人材を活用し、継続した技術指導とフォローアップ体制を整備する。
支援予定額	522,000円

団体名	特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク
事業名	「福岡から広げる世界」あと一步を踏み出していく市民を増やすプロジェクト
実施国	日本国内
活動概要	2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」では、それまでのミレニアム開発目標 (MDGs) にもまして、国際協力に対する市民の理解や活動への参加が、重要であることが再確認された。これまでも開発教育や人材育成を主要活動としてきたが、学びから行動 (実践) の動線が不十分であったり、参加する個人・NGO・企業等の繋がりが生まれにくいといった課題を抱えていた。今後さらに目的と対象者を絞った精度の高い事業実施を念頭に、国際協力への気付きや学びを受けて一步を踏み出す後押しと、行動をより具体化するプログラムの提供を行うことで、参加者にとって可能な方法で社会課題解決に参画する機会を生み出したい。
支援予定額	743,600円

団体名	認定NPO法人名古屋NGOセンター
事業名	企業とNGOの対等な協働事業を促進するために、中部らしい「連携事例」と「仕組み」を生み出すための5つのプログラム
実施国	日本国内
活動概要	中部地域は2次産業である鉱業・製造業・建設業が全体のおよそ38% (全国平均は 25%) を占め、大企業だけでなく中小企業においても特色ある企業が多く存在する。中部地域ならではの企業とNGOの連携の在り方について、双方で模索しながら、対等な協働事業を促進するために中部らしい「連携事例」を生み出し、「仕組み」づくりにチャレンジする。中部地域の企業とNGOがそれぞれの強みを生かした連携で、その成果を社会に発信していくことで、地球規模の課題の解決に大きな貢献を果たす。
支援予定額	1,000,000円

2015年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告（2014年度は[こちら](#)）

11件（順不同）

団体名	特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima
事業名	ネパール・被災した子どもたちの心の健康をとり戻すSadakoの絵本プロジェクト
活動地域	ネパール
活動概要	2015年4月25日に発生したネパール地震直後より、傷ついた子どもたちの「心の健康」をとり戻すため、原爆から復興したヒロシマの経験を伝える絵本を配布したいとカトマンズのタマン市長とNeuro Foundation Nepal（カトマンズのNGO）のバサント・パント医師から強い要望があった。「美しいもの」や「子どもの力は微力だが無力ではない」といった力強いメッセージを持つ絵本は、心の栄養となり前向きな姿勢をつくりだし心の健康をとり戻すことに寄与する。
支援予定額	500,000円

団体名	特定非営利活動法人 アジアクラフトリンク
事業名	ミャンマーの縫製教育支援
活動地域	ミャンマー
活動概要	ミャンマーの人々の職種選択の範囲を広げることを目的に縫製教育を開始した。2010年からミシンの寄贈、指導テキスト制作、日本への招聘、現地訪問、交流等を行ってきた。縫製技術を身に着けることにより人々の経済的自立を支持し、地域の産業の活性化を図る。
支援予定額	1,000,000円

団体名	日本ラテンアメリカ協力ネットワーク
事業名	グアテマラ、ポアキルでの貧困削減のためのマイクロクレジット事業
活動地域	グアテマラ
活動概要	チマルテナンゴ県ポアキルはマヤ・カクチケル先住民が住む地域であるが、住民のほとんどは貧困層で、とりわけシングルマザーの家庭は極貧状態にある。この地域の内戦で夫を殺された女性たちが生き延びるために作った協同組合が30年前から地域の女性と子どものために行っているマイクロクレジットのプロジェクトを大きくするため、原資を増加し、グアダルベ組合の組織強化と運営の安定を図る。そして長期的なプロジェクトとして発展させ、地域の貧困削減に貢献すると同時に、この活動に参加する女性たちの能力向上にも寄与する。
支援予定額	996,294円

団体名	特定非営利活動法人 カマル・フリーダ
事業名	マニラからブラカン州・セントマーサエステイトに移住した元スラム居住集団による野菜生産プロジェクト
活動地域	フィリピン
活動概要	マニラ市内のスラムから郊外農村に3500世帯余りの前スクウォッター（不法居住者）集団が移住した。だが移住先でかつての収入源を失い以前よりも一層収入が減り、必要な食糧を購入出来ずに飢餓・栄養失調状態が続いている。解決法として家庭菜園での野菜栽培を指導し、指導者を育成する。隣接する小学校で児童と父兄の栄養教育も行い栄養バランスの指導も行う。
支援予定額	992,000円

団体名	特定非営利活動法人 おおた市民活動推進機構
事業名	コミュニティの課題解決に取り組む女性たちを中心とした水源保護と気候変動対策支援 ～ 協働を促すコミュニケーション研修
活動地域	ニカラグア
活動概要	ニカラグアの北部大西洋自治地域（RAAN）は、巨大頻発化するハリケーンの被害と無計画な森林伐採によって水源の確保が年々困難になっている。社会的な支援がない中で奮闘する女性グループを支援しようと2012年以降継続して年一度程、効果的な情報発信の研修を実施。経験豊富な技術者を派遣して、ビデオ制作と完成した映像を効果的に発信するメディアプロデュース技術を移転する最終段階のメディア研修を行いたい。
支援予定額	998,000円

団体名	特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
事業名	ネパール大地震で被災した子ども達への奨学金支援事業
活動地域	ネパール
活動概要	2015年4月25日、ネパールはマグニチュード7.8の強い地震により多くの犠牲者と建物の全半壊で甚大な被害となった。当団体の主たる事業である『女子の就学支援』は現在ネパール75郡のうち21郡の子ども達の教育支援を実施している。今回の震災で奨学生が住む多くの村々は震源地近くに集中していて壊滅的な被害をうけた。被災者の生活復興とともに奨学生が再び学校へ戻れるかが緊急課題となった。特に学業継続、就学が困難な被災者に「緊急奨学金」の特別支給を行う予定である。
支援予定額	1,000,000円

団体名	PKWI (Popular Knowledge Women's Initiative) を支援する会
事業名	ウガンダ ブケディア地域の洋裁教室卒業生を対象として現金収入向上事業
活動地域	ウガンダ
活動概要	首都と地方の経済格差が広がるばかりのウガンダにおいて、活動地である東部のブケディア地区は過去20年にわたる内戦の結果、インフラ整備や社会サービスの開発が遅れ貧困から抜け出せないでいる。教育を満足に受けることができない子どもも多く、女性は低年齢で出産しひとり子どもを育てているケースも少なくない。2012年より女性のための洋裁教室を立ち上げ、研修終了後効果的に収入につながるようなシステムを構築し、女性の自立支援を目指している。
支援予定額	996,000円

団体名	特定非営利活動法人アクセス - 共生社会をめざす地球市民の会
事業名	フィリピンの貧しい農漁村におけるマイクロクレジット事業の再建
活動地域	フィリピン
活動概要	当団体は貧しい半農半漁の村で、2010年11月から主婦を主な対象にしたマイクロクレジット事業を開始した。立ち上げから3年間は順調に進んだが、昨年度は融資利用者の毎週の会議への出席率・返済率の低下という事態が発生したため、現在再建のための準備を開始。融資利用者の評価、債務滞納者の債務繰り延べ計画の作成と合意の取り付け、事業スキームの改善、担当職員のスキルアップを行うことによって、事業を正しい発展軌道に戻し、持続可能で利用可能な金融サービスの提供という本来の目的を達成することを目指す。
支援予定額	996,100円

団体名	特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク
事業名	「わたしからはじめる！」国際協力プレーヤー発掘プロジェクト
活動地域	日本国内
活動概要	これからの国際協力のアクターとなり得る市民を対象にした「啓発」に焦点を絞ることで事業の精度を高め、グローバルイシューや国際協力への市民の理解を得ることを目的に実施するものである。単純明快な目的を掲げて市民に働きかけることで事業のねらいを正確に理解してもらい、参加者レベルやニーズと企画とのミスマッチを防ぎ、関心層を確実に増加させるための事業としたい。
支援予定額	814,000円

団体名	特定非営利活動法人 関西NGO協議会
事業名	関西地域の中小企業とNGOの連携促進支援事業のため制度基盤強化プロジェクト
活動地域	日本国内
活動概要	日本ではCSRの関心の高まりとともに、NGOと企業の協働が進んでいる。しかし大手企業との事例が多く、全企業の99.7%を占める中小企業との協働事例は少ない。関西で活動する35のNGOのネットワーク組織としての特性を生かし、中小企業とNGOの協働に向けた中間支援組織としての支援のモデルをつくり、地球規模の課題解決に関心を向け、CSRを進めたい中小企業と、活動の広がりを期待するNGOの連携を促進することで、途上国の諸問題の解決を促し、人間の安全保障の形成の一助を担う。
支援予定額	1,000,000円

団体名	児童労働ネットワーク
事業名	ストップ！児童労働キャンペーン
活動地域	日本国内
活動概要	児童労働はグローバル開発課題であり、日本でもより一層活動を強化する必要がある。そのため、児童労働根絶に向けた世界的なネットワーク作りや政策提言にも尽力し、自身が設立した団体「BBA」で8万人以上の子どもを児童労働から救ったノーベル平和賞受賞者のカイラシュ・サティヤルティ氏を招聘し、児童労働の問題や、解決策の検討を行い、日本国内での児童労働への理解向上と国際的ネットワークの強化に努める。
支援予定額	981,000円

2014年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2013年度は[こちら](#))

12件(順不同)

団体名	ネイバーズ
事業名	車いす整備技術移転とショート映像制作
活動地域	フィリピン共和国
活動概要	車いす使用者が安全に長く乗れるように車いすを整備できる技術を移転して、貧困層の障がい者や家族の自立のきっかけとする。また啓蒙活動として、ショート映像を作成し、地域の映画館やテレビで上映して障がい者への理解を促す。
支援予定額	661,152円

団体名	特定非営利活動法人アジアの子どもたちの就学を支援する会
事業名	カンボジアと日本の母親の助け合い「Mother to Mother」活動の自立と安定のための作業場建設と運営体制強化事業
活動地域	カンボジア王国
活動概要	カンボジア農村の最貧困家庭の母親が日本の幼稚園や小学校で使う布製品を手縫してお互いが助け合う、「Mother to Mother」支援活動を安定稼働させ拡大させる為に、作業場の構築と運営体制を強化・生産数を増大させることにより多くの貧困家庭に仕事を提供し、未就学と中退問題の解決を目指す。
支援予定額	1,000,000円

団体名	ジャカルタ・ジャパン・ネットワーク
事業名	CBRにおける障害者の子どもと障害のある子どもへの奨学金提供と家族を基本とした障害のある子の療育
活動地域	インドネシア共和国
活動概要	インドネシアは現在、義務教育が無料になったが教科書代や設備費に経費がかかり、支援が必要な状況である。障害のある人は就労が困難で、それらの経費や学校までの交通費を支払う余裕が無い。また一方、障害のある子どものための特別教育は多少あるものの、貧困層では経済的に特別な教育機関を利用することは困難であるため、従来の奨学金に加えて、貧困層の障害のある子ども達への治療-リハビリ-や特別な教育の支援ができるよう、親とCBRのボランティアスタッフを養成し、子ども達の発達支援に寄与したい。
支援予定額	984,000円

団体名	ニバルレキレ〜I am special!〜
事業名	南アフリカ共和国における薬物乱用から若者を救う、コミュニティと治療リハビリテーション施設が連携する貧困地区での問題解決アプローチ
活動地域	南アフリカ共和国
活動概要	近年、若者の薬物乱用および依存の問題が表面化している。エイズ治療薬をマリファナやヘロインに混合させたものが流行しているため、①HIV陽性者が薬を売り、生活の糧にし、エイズ治療を中断する②ギャングが診療所へ強盗侵入しエイズ治療薬が不足する、といった事態も起きている。このような問題の蔓延を防ぐために薬物乱用防止とHIV感染予防の啓発を行いながら、治療施設を存続を目指す。特に様々な支援が終了する15歳以上〜20代前半のエイズ孤児の支援に力を入れている。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会
事業名	バングラデシュ・ミシン教育による農村地域女性の貧困削減・社会進出
活動地域	バングラデシュ人民共和国
活動概要	1992年に購入したミシンが20年以上も経ち、よく故障するようになった。また研修場所が病院内にあるため、外部者が出入りすることで病院の環境が悪くなって来た。ミシンの研修室を建設し、新しいミシンを購入して、安定した研修を継続すること、そして研修を受けた女性たちの経済的な自立・家庭内でのエンパワーメントの向上を目指すし、女性の社会進出（就職）を援助する。
支援予定額	996,000円

団体名	ニカラグアの会
事業名	ニカラグアにおける太陽光発電を通じた自立化・環境教育事業
活動地域	ニカラグア共和国
活動概要	子どもや女性の教育機会の保障とそのための環境整備、持続可能な開発、エコフレンドリーな社会づくりを促進するための支援を行うことを目指し、2008年より簡易（手作り）太陽光パネルの学校への設置を開始。2011年9月にはパネル製作の技術指導と必要な機材の供与を現地NGOに対して行い、技術移転に取り組み始め、2013年2月の講習会において、ほぼ完了した。本事業は技術移転後、現地NGOが、その技術を活かして人材育成や事業の自律化を図り、また地元大学との連携も強化し、地域での環境教育の推進、及び非電化地区の解消を促していく予定である。
支援予定額	560,000円

団体名	四国NGOネットワーク
事業名	国際協力への理解促進のための広報ツールの再構築～ホームページ作成と写真パネル作成～
活動地域	日本国内
活動概要	団体設立10周年を迎えるにあたり、基本に立ち返り、市民の方に国際協力に対する理解と関心を持ってもらうため、広報活動に力を入れ①ホームページの作成②広報ツールとしての写真パネル作成を行うこととした。ホームページでは、団体の紹介・活動紹介のページを作成。また人材育成の主旨も含め地元の大学生に協力してもらい、例えば各団体の代表へのインタビューを行ったり、ホームページのレイアウトを一緒に考えていく予定である。写真パネル作成は、各団体から活動の様子を写した「とびっきりの1枚」を提供してもらい、多くのイベントなどで活用し、四国の国際協力NGOのを知ってもらう機会を作ること考えている。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人イランの障害者を支援するミントの会
事業名	イランアラク市のバリアフリー人材育成事業
活動地域	イランイスラム共和国
活動概要	イランキャラジ市の行政関係者や障害者施設においてバリアフリーワークショップを2012年から毎年開催してきた。イランにバリアフリーシステムを定着させるための研修が必要とされている。今回はアラク市の行政・戦傷者の会・障害当事者約40名に対して3日間のワークショップを行い、官民一体となってバリアフリー整備の課題を共有する。さらにバリアフリー当事者リーダーを育成するために勉強会を行い、現地の社会に合ったバリアフリーシステム作りを継続して進められるように、支援する。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク
事業名	「五感で感じる国際協力！」気づき、学び、行動する市民を増やす国際協力活性化プロジェクト
活動地域	日本国内
活動概要	開発教育や人材育成を主要活動としているが「啓発」「参加促進」「人材育成」「ネットワーキング」が別々の事業として実施されることが多く、学びから行動（実践）の動線が不十分になり、個人・NGO・企業等の繋がりが生まれにくいといった課題を抱えていたため、今回国際協力に関心のある大学生、市民、企業関係者等を対象に(1)グローバルイシューや国際協力に対する理解を深める(2)自分なりの国際協力の関わり方を考える(3)国際協力活動にコミットしているアクターのネットワークを構築することを目的とするセミナーを開催。「導入フェーズ」「キャリアデザインフェーズ」「実践国際協力フェーズ」という3段階に分け、知識の習得、自身の将来設計、プロジェクト形成となる講演やワークショップを組み合わせた長期セミナーとしたい。
支援予定額	940,500円

団体名	特定非営利活動法人ASACカンボジアに学校を贈る会
事業名	カンボジア識字教室の開催と生活向上のための体験談交流会の実施
活動地域	カンボジア王国
活動概要	ポルポト政権時代、教育者を含む知識人が大量虐殺、学校は全て破壊された。事業予定地でも大きな被害を受けた影響で非識字者が多く、貧困の為小学校を途中で辞めたまま非識字者になった成人も多い。本事業では非識字者を対象に識字教室を開催し、受講生が初歩的な読み書き計算ができるようになり、生活改善への道が開けるようにすることを目的とする。教室は6か月間、月～土曜の夕方6時から2時間開催する。教科書を使い読み書き計算とともに衛生・道徳観念なども教える。また会独自の工夫として、生活家計日誌の記載指導、受講者の希望に基づく農業・家畜関係の講読本の配布を行う。識字教室を修了した成功者による体験談発表と交流は、参加者の勉学意欲を高め、新しい仕事に取り組むヒントを提供する機会なので特に重視して行う。
支援予定額	897,412円

団体名	KESTES (Kenya Students' Educational Scholarship)
事業名	ケニアにおける貧困層への中等教育向け奨学金支援事業
活動地域	ケニア共和国
活動概要	ケニアのセカンダリースクールでは成績、人格ともに優秀であるにもかかわらず、経済的な理由により学業を断念せざるをえない、という事例が数多く見られる。当団体の奨学金制度はそうした現状を目の当たりにした青年海外協力隊理数科隊員が個人的に行っていた学費援助に継続性と効率性を持たせ、より安定した支援を目指したものである。これまでの30年間で350名を超える生徒を支援し、奨学生の中からは博士号を取得する大学教員も生まれた。本事業では、現在支援中の奨学生、および新規採用の奨学生対し、2015年度の学費支援を行い、継続的な奨学金制度運営の一助としたい。
支援予定額	659,421円

団体名	特定非営利活動法人ミレニアム・プロミス・ジャパン
事業名	ウガンダ ルヒーラ・ミレニアム・ビレッジのリャミヨンガ小学校付属幼稚園および同小学校教育支援事業
活動地域	ウガンダ共和国
活動概要	MDGsの達成を目指して設立され、世界的に注目を浴びているミレニアム・ビレッジ・プロジェクトにおいても現地担当者がモデル校へと期待しているリャミヨンガ小学校の教育環境を、ハードとソフトの両面から充実させ、幼稚園から一貫した支援による小学校卒業の達成、幼い兄弟姉妹の世話のために学校へ来られない女児の就学支援によるジェンダー平等、薪や水の節約による環境配慮、将来的には教育による貧困削減達成など、世界的な最貧困地域において、教育支援による波及効果例を示したい。
支援予定額	994,639円

2013年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2012年度は[こちら](#))

8件 (順不同)

団体名	KESTES (Kenya Students' Educational Scholarship)
事業名	ケニアにおける貧困層への中等教育奨学金支援
活動地域	ケニア共和国
事業概要	ケニアで活動する青年海外協力隊員で組織され、発足から約30年、経済的理由によりセカンダリースクールでの就学が困難な学生に奨学金を供与している。今後さらなる支援学生数を増やすとともに、持続的自己財源確保のための販売グッズの開発、広報ツールの作成、イベントの開催を行う。
支援予定額	454,216円

団体名	NPO法人 おおた市民活動推進機構
事業名	地域課題の解決、災害予防に役立つ情報ツールの導入と継続研修
活動地域	ニカラグア共和国
事業概要	提案団体は、大田区の市民活動拠点として、協働オフィスの運営、情報発信、国内外での市民活動支援、国際交流等をグアテマラ、ニカラグアを中心に行っている。今回の提案案件ではハリケーン被害や相次ぐ異常気象により、持続的な復興が困難なニカラグア先住民地域において、住民の閉塞感や無力感を改善するため、デジタル・ストーリーテリング(DST)手法を用いたエンパワーメント活動を行う。またDSTを地域での問題解決、減災・防災活動に活用できる人材養成のきっかけとする。
支援予定額	980,000円

団体名	一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン
事業名	フィリピン国しょうがい児・者のための自立生活および生活技術向上プログラム
活動地域	フィリピン共和国
事業概要	提案団体は放任、ネグレクト、いじめなどによって厳しい状況下にある子どもたちが安心して元気に育つような環境づくりを、家族や地域の人々と共に行っている。本案件では、障がいのある青少年の自立生活支援として、知識や技術の移転など就労に結びつく活動を現地NGOと共に進行。また現地NGOが今後、自ら支援プログラムを開発できるように指導していく。
支援予定額	1,000,000円

団体名	チーム ピース チャレンジャー
事業名	インドの貧困村の学校に安全な給食を提供する
活動地域	インド共和国
事業概要	2010年に設けられた学校の給食調理室は調理の安全面・衛生面に問題があり、新たに給食調理室を建設することでこれらを解決し、また授業の中に栄養・衛生教育を取り入れることで、栄養失調状態の子どもの健康管理をしていく。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人 地雷廃絶日本キャンペーン
事業名	カンボジアの地雷犠牲者にバリアフリースイレを一生活の衛生面向上のための取り組み
活動地域	カンボジア王国
事業概要	提案団体は、地雷禁止国際キャンペーン(ICBL)のメンバーとして国内外の対人地雷およびクラスター爆弾の全面禁止の実現に関する事業を行い、両兵器の犠牲者に対する援助、危険にさらされた地域の人々への危険回避教育、また一般への啓発活動の充実に寄与することを目的とし活動している。地雷犠牲者の多くが暮らす途上国の農村部では、物理的な障壁が彼らに生活の不便を強いているが、特に居住環境のトイレ状態を整えることで衛生状態がよくなり病気の予防ができるだけでなく、ストレス軽減で精神状態がよくなり、自立度の向上と社会参加の促進を目指す。
支援予定額	528,000円

団体名	特定非営利活動法人 イカオ・アコ
事業名	食品加工技術の移転による貧困山村地域の女性の就業支援
活動地域	フィリピン共和国
事業概要	提案団体は、森林破壊に関する環境問題について実態を調査しマングローブ林や熱帯高地林の植樹事業を実施したり、住民と共に森林再生に取り組んでいる。また現地住民が、活動を継続するための資金を自己調達できるように、職業訓練や収入向上支援を行っている。JICA草の根技術協力事業によって組織化した農民・漁民団体の生産物のさらなる市場拡充のためカフェをオープンさせた。本案件では、食品加工技術の移転と生産設備の支援を行い、ジャムやドライフルーツ、または燻製など加工品を生産し、カフェでの販売することによって仕事のない女性の雇用、生活向上を図る。
支援予定額	951,300円

団体名	特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ/ TPAK
事業名	ミャンマー、シャン州の少数民族の村における生活向上のための教育支援「男子高校生寮建設支援プロジェクト」
活動地域	ミャンマー連邦共和国
事業概要	提案団体は、タイ、ミャンマー、インドで少数民族と農村部の子供たちと女性たちの教育と健康と自立のための支援活動を行っている。2011年当団体の支援で女子高校生寮を建設したことで大学進学率が飛躍的に上がったことにより、教育環境整備への重要性が認識され、今般男子高校生寮建設の要請がされた。教育環境を整えると共に本建設事業を通じて村の建設委員会にノウハウを身に付けてもらい、村の自立発展を促していく。
支援予定額	1,000,000円

団体名	北海道マルディコラ・ネパール教育基金
事業名	ネパール中四部カスキ地域マルディコラ川流域にのる15校の小・中・高校生への奨学金・子供図書・理科教材器具の提供
活動地域	ネパール連邦民主共和国
事業概要	ネパールの中・高校生へ奨学金を提供し、経済的理由による就学断念を防ぎ、就学率を高めるため、団体独自活動と協働して、カスキ地方の学校に図書室設置、学校図書の寄贈、貧弱な理科教育の改善のため理科教材・器具の提供、ならびに施設・器具の利用、維持管理指導、モニタリング等を行う。
支援予定額	298,000円

2012年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2011年度は[こちら](#))

7件 (順不同)

団体名	Agriculture Innovations for Sustainable Development - Uganda (AISUD : アイサド)
事業名	マイクロクレジット事業拡充
活動地域	ウガンダ共和国
事業概要	本団体は、2010年以降、村落部住人、特に小規模農家を対象としたマイクロクレジット事業を中心に活動を行ってきた。収益の地域還元、農民の生活改善、持続可能な村落部の開発を心がけ、被融資者同士の連帯責任による相互補助・監視体制の促進、コストダウンによる低利率の提供、収穫期に合わせた支払猶予期間の設定などの工夫を行い、高い返済率を保っている。本案件では、H23年度に引き続き、寄附金による貸付原資の拡充により、既存融資者への貸付上限額引き上げを行う。
支援予定額	993,591円
団体名	ニカラグアの会
事業名	ニカラグアにおける太陽光発電普及促進事業
活動地域	ニカラグア共和国
事業概要	本団体は、ニカラグア社会の健全な発展と平和の構築・維持に寄与することを目的として、主にパートナーNGO「スペレモス」を通じて、現地での太陽光パネル普及、教育支援を行うとともに、日本国内での広報・啓発事業を実施している。本案件では、太陽光パネルの生産、維持管理等の技術をスペレモスに移転するため、技術者の養成、および環境教育を行う。これにより雇用拡大、自然エネルギー循環型社会の自立的形成を支援する。
支援予定額	660,000円
団体名	NPO法人おおた市民活動推進機構
事業名	地域課題の解決、災害予防にむけた効果的な情報ツールの導入
活動地域	ニカラグア共和国
事業概要	本団体は、大田区の市民活動拠点として、協働オフィスの運営、情報発信、国内外での市民活動支援、国際交流等を行っている。ラテンアメリカ交流事業は、グアテマラ、ニカラグアを中心に実施中。本案件では、ハリケーン被害や相次ぐ異常気象により、持続的な復興が困難なニカラグア先住民地域において、住民の閉塞感や無力感を改善するため、デジタル・ストーリーテリング(DST)手法を用いたエンパワーメント活動を行う。またDSTを地域での問題解決、減災・防災活動に活用できる人材養成のきっかけとする。
支援予定額	986,000円
団体名	特定非営利活動法人アクセスー共生社会をめざす地球市民の会
事業名	フィリピンの貧しい農漁村におけるマイクロクレジット事業と女性たちのエンパワメント
活動地域	フィリピン共和国
事業概要	本団体は、フィリピンの都市貧困地区や農村地域において自立支援活動を行うとともに、日本国内での開発教育、スタディツアー派遣、フェアトレード等を実施している。本案件では、ケソン州アラバット島ベレーズ地区で実施してきた、貧困家庭女性を対象としたマイクロクレジット事業拡充のため、融資担当、経理担当2名の採用、研修費用を補てんするとともに、経理用コンピュータを導入する。
支援予定額	789,976円

団体名	NGO涼山会
事業名	大石頭村小学校環境整備事業
活動地域	中華人民共和国
事業概要	本団体は、過去に涼山州で行われていたJICAプロジェクトおよび協力隊事業関係者のボランティア活動から始まり、少数民族イ族の教育レベル向上と、貧困削減を目指している。特に、大石頭村において、学校の教育環境整備、水道整備、子ども達の学費支援などの協力を行ってきた。本案件では、雇用した教師の教育意欲の向上のために、教師の居住環境を整備するとともに、児童及び親の勉強意欲の向上のために、図書室の設置や教室改修など学習環境を整備する。さらに、団体設立から9年が経過し、これまでの活動の成果を測るために、卒業生のフォローアップ調査や親の意識変革調査など、参加型の評価を実施する。
支援予定額	970,000円

団体名	特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)
事業名	ケニア・ムイギ県での地域エイズ・リーダー育成事業
活動地域	ケニア共和国
事業概要	本団体は、ケニア・ムイギ県で地域住民の保健・エイズに関する知識・技能の向上、教員のエイズに関する知識の普及と教授能力の向上に取り組んできている。本案件では、これまで同団体が実施してきたリーダー研修修了者自らが、地域エイズ学習会で住民に対しエイズ教育を行うことを支援する。
支援予定額	997,040円

団体名	特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター
事業名	「国際協力の現場」を体験し、行動する市民を増やすための地域NGO活性化プロジェクト ～中部地域のNGO緊急課題「中小規模NGOのスタディツアー能力強化」を通じた国際協力の推進～
活動地域	日本
事業概要	本団体は、中部地域のNGO間の協力関係を促進し、団体の健全な発展に寄与することを目的に、NGOサポート事業、コンサルティング、情報収集・発信、調査研究、政策提言、開発教育等を実施している。本案件では、NGOのスタディツアー実施能力強化研修、広報ツールの作成を通し、より多くの地域の市民がスタディツアーに参加し、国際協力への理解を深めるとともに、ツアー主催NGOの資金的/人的な強化を目指す。
支援予定額	992,120円

2011年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2010年度は[こちら](#))

7件 (順不同)

団体名	ひかりの子どもたちの会
事業名	公立小学校と連携した学童教室実施による、学校教育改善事業
活動地域	ブラジル連邦共和国
事業概要	本団体は、①保育園の管理・運営、及び幼児教育、識字教育の推進、促進、②地域における手工芸品の推進、促進及び販売促進、③文化・芸術及びスポーツ活動の推進と協力の3つの柱を通じた、子ども達の支援を行っている。そのうち②の中で、学童教室を実施することにより、学校教育の不足を補完してきている。本案件では、将来的な小学校の全日制実施へ向けて、小学校との連携強化、地域住民との連携強化を図る。具体的には、学校の教職員と学童の教職員との定例会開催へ向けた準備、地域住民に対するワークショップの開催、児童宅への家庭訪問などを実施する。
支援予定額	899,250円

団体名	特定非営利活動法人ジュレー・ラダック
事業名	北インド・ラダック地方における太陽エネルギーの活用と環境教育プロジェクト
活動地域	インド
事業概要	本団体は、非電化の農村地域における適正技術として、太陽エネルギーを利用したソーラークッカーの普及と環境教育を進めてきた。また、環境や持続可能な開発、自然エネルギー等に関するワークショップを開催し、環境教育を実践してきた。本案件は、太陽エネルギーを利用した技術として、新たにソーラーウォーターヒーター（太陽熱温水器）を導入し、冬季の温水提供による人びとの暮らしの改善を目指す。その際、ヒーターの維持管理、設置などの研修やマニュアル作成を行う。また、環境に配慮した生活モデルを通じた環境教育プログラムの実施を行う。
支援予定額	1,000,000円

団体名	NPO法人 国際交流は子どもの時から・アジアの会
事業名	女性の職業訓練 #2
活動地域	モンゴル国
事業概要	本団体は、これまでモンゴルにおいて、子どもの奨学金支援や移動図書館の開設などを行ってきた。2009年に、JICA基金の支援により、主にシングルマザーの自立を目的とした、羊毛製品の職業訓練を開始し、貧困女性に手に職を与え、現金収入を得る力をつけるとともに、エンパワメントを行っている。現在、現地にNPOが立ち上がり、提案団体の支援のもと活動を継続している。本案件は、羊毛製品の品質保持および大量生産を進め、安定した生産体制と安定した収入を確保する。また、新規訓練女性の育成も行う。
支援予定額	997,500円

団体名	Agriculture Innovations for Sustainable Development - Uganda (AISUD : アイサド)
事業名	ウガンダ共和国 マイクロクレジット事業内容拡充・事業対象地域拡大
活動地域	ウガンダ共和国
事業概要	本団体は、2010年以降、村落部住人、特に小規模農家を対象としたマイクロクレジット事業を中心に活動を行ってきた。収益の地域還元、農民の生活改善、持続可能な村落部の開発を心がけ、被融資者同士の連帯責任による相互補助・監視体制の促進、コストダウンによる低利率の提供、収穫期に合わせた支払猶予期間の設定などの工夫を行い、高い返済率を保っている。本案件では、寄附金による貸付原資の拡充により、新規融資者の開拓と既存融資者への貸付上限額引き上げを行う。
支援予定額	998,491円

団 体 名	特定非営利活動法人 イランの障害者を支援するミントの会
事 業 名	イランの障害者への訪問看護支援
活 動 地 域	イラン・イスラム共和国
事 業 概 要	本団体は、2007年から日本のピアカウンセラーと訪問看護師がイランを訪問し、在宅の車いす障害者や寝たきり障害者の自宅訪問を行い、相談活動と福祉機器の配布を行ってきた。また、2010年からはイランで日本の医療・看護技術に関する研修会を実施したり、日本へイランの福祉省職員を招へいして研修を行っている。本案件では、①日本の訪問看護ステーションと在宅支援の活動を紹介し（研修会、講演会、相談会）、②イランの在宅障害者を自宅訪問し、アンケート調査を実施し、③右活動を通じて得たデータや資料を取りまとめ、福祉省など関係機関へ働きかけ、イランにおける障害者の在宅支援、自立支援、生活相談、家族支援の拡充を図る。
支 援 予 定 額	1,000,000円

団 体 名	特定非営利活動法人 アマニ・ヤ・アフリカ
事 業 名	貧困に苦しむ子供たちへの中等教育奨学金支援事業
活 動 地 域	ケニア共和国
事 業 概 要	本団体は、1999年から、ナイロビ市のスラム街にあるマゴソスクール（小学校、8年制）に対して、給食費や教員2名の給与等の支援を行っている。H21、H22年度はJICA基金により、経済的事情により進学を断念せざるを得なかった10名の子どもたちに対し、高校進学のための学費等の支援を行った。本案件は、これまで支援してきた10名の生徒たちが卒業するまでの継続支援を行う。具体的には、特に生活状態の悪い6名に対して、学費や制服、文房具、帰省の際の交通費、生活費など全てを支援する全額支援を行い、残り4名については学費のみを支援する。
支 援 予 定 額	342,016円

団 体 名	公益財団法人 日本農業研修場協力団
事 業 名	専門農業技術者派遣事業
活 動 地 域	ネパール連邦民主共和国
事 業 概 要	本団体は、1989年以降、ネパールに農業技術者を派遣し、実験農場を設け、技術指導や市場開拓、地域にあった生産性の高い農産物の試作を行い、農家収入の向上、農村地域の子ども達の学力向上、環境衛生意識向上等、農村地域の活性化を図ってきた。本案件は、新たに地域振興を希望している地域において、その土地に合った経済性の高い農産物の検証、生産及び加工についての調査指導、リーダー人材の育成、流通拡大に向けた体制作りなどを行う。
支 援 予 定 額	850,000円

2010年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2009年度は[こちら](#))

10件 (順不同)

団体名	特定非営利活動法人 インド福祉村協会 (IWVS)
事業名	インド村民へのマラリア・結核・予防教育と治療の普及
活動地域	インド共和国
事業概要	本団体は2006年からインド・ウッタル・プラデシュ州でJICA草の根技術協力事業「農村民への保健衛生教育と人材育成」を行ってきているが、引き続きマラリア及び結核に対する予防知識や生活改善が必要である。本事業は、貧農民へのマラリア予防及び結核予備知識の普及や早期発見及び早期治療のために必要な活動を支援する。
支援予定額	990,000円

団体名	特定非営利活動法人 日本ハビタット協会
事業名	タンザニアの学校における障がい児・孤児などの生活改善支援事業
活動地域	タンザニア連合共和国
事業概要	本団体は2009年からタンザニア・ケニア・ウガンダなどのアフリカにおける孤児、障害児への支援活動を実施してきているが、ハイチやパキスタンにおける被災者支援のために資金を提供したため資金不足に陥りアフリカでの活動の継続に支障を来している状況である。本事業は、タンザニアにおいて障害児も通学するムゲザ ムセト特別学校周辺の通路を舗装することにより、教室、食堂、寮の移動が障害者に支障なく行えることを支援する。
支援予定額	1,000,000円

団体名	特定非営利活動法人 アマニ・ヤ・アフリカ
事業名	貧困に苦しむ子供たちへの中等教育奨学金支援事業
活動地域	ケニア共和国
事業概要	本団体は2000年からナイロビ市にあるマゴソスクール (小学校 (8年間)) に対して、給食費や教員2名の給与等の支援を行っているが、昨年度本基金により、経済的事情により進学を断念せざるを得ない有能な8名の子どもたちの高校進学のための学費等の支援を行った。本事業は、高校に進学した子どもたちが継続して勉学に励むことを支援し、さらに2名の子どもたちの高校進学を支援する。
支援予定額	384,302円

団体名	特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター
事業名	地域NGOを通じて、貧困や飢餓に苦しむ人びとを支援しよう！全国初 地域NGOを通じたWEB募金システムの構築
活動地域	日本国内
事業概要	本団体は地域NGOを活性化するためのボランティアトレーニング事業を実施してきているが、入会NGOへの寄附・協働に限定される傾向があり、地域の中小規模NGOとの格差拡大が問題視されている。本事業は、地域の中小規模NGOのファンドレイジング戦略として、「Web募金」を開発し、地域の中小規模NGOへの寄附・協働を促進することを支援する。
支援予定額	978,000円

団 体 名	特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)
事 業 名	ケニア・ムインギ東県での女児の早期性交渉・妊娠予防のためのガイダンス形成事業
活 動 地 域	ケニア共和国
事 業 概 要	本団体は、ケニア・ムインギ県で地域住民の保健・エイズに関する知識・技能の向上、教員のエイズに関する知識の普及と教授能力の向上に取り組んできているが、小学校での女児の早期妊娠に関する課題については従来の方法では対応できなくなっている。本事業は、小学校での女児の早期妊娠の予防を地域の教員が実施できる取組みを行い、これをモデル化して同様の課題に取り組む人材の育成を支援する。
支 援 予 定 額	999,180円

団 体 名	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか
事 業 名	ネパール「子どもの家」(孤児院)の少女たちの自立サポートプログラム
活 動 地 域	ネパール共和国
事 業 概 要	本団体は、1999年からネパール・シンズリ郡において政情不安などのために孤児となった女子が共同生活する施設(孤児院)の運営をしているが、義務教育が終了しても孤児である女子が就労できる機会は少ない状況にある。本事業は、上記の孤児院の一部を改造して洋裁やクラフトに関するトレーニングセンターとして機能させ、ビジネス化させることで安定収入を得られることを目指すとともに、地域の女性の地位向上に向けたリーダーの輩出に係る活動を
支 援 予 定 額	1,000,000円

団 体 名	アジアの女性と子どもネットワーク
事 業 名	バーン・ヒン・スーン・スクールにおける幼稚園舎建設と運営及び保健衛生・栄養指導を含むコミュニティ開発
活 動 地 域	タイ王国
事 業 概 要	本団体は1997年からタイ北部・東北部等で校舎を建設し、貧困層の子どもたちの教育状況の改善事業を行ってきたが、これらの地域はタイ周辺国からの越境者が多く、子どもを預ける施設がないため就労に一層の支障を来している。本事業は、幼稚園舎を建設して上記の子どもを預かり教育機会を確保するとともに、親の就労機会の創出を支援し、住民への保健衛生及び栄養指導をととしたコミュニティ機能の強化に関する活動を支援する。
支 援 予 定 額	999,576円

団 体 名	国際協力 NGO Peace
事 業 名	エイズ孤児里親自立支援 就学プロジェクト
活 動 地 域	ウガンダ共和国
事 業 概 要	本団体は、ウガンダで9年間にわたりエイズ孤児支援事業を行い、エイズ孤児手作りのストラップの日本での販売収益の一部で現地に養豚場を建設し、学校運営資金とするなどの活動を行ってきたが、エイズ孤児の支援は要望は多いが資金不足のため十分な対応ができない状況である。本事業は、エイズ孤児への支援に関して特に教育に重点を置いて奨学金事業を行うことで、知識や知恵を身に付けさせ、自立発展に寄与する活動を支援する。
支 援 予 定 額	1,000,000円

団 体 名	特定非営利活動法人 アクセスー共生社会をめざす地球市民の会
事 業 名	フィリピン・ケソン州アラバット島ペレーズ地区の貧困層の子どもたちを対象とした奨学生プログラムの奨学生会・保護者会のエンパワメントを通じた、健康な家族生活と子どもに優しいコミュニティの建設事業
活 動 地 域	フィリピン共和国
事 業 概 要	本団体は2009年からフィリピン・ケソン州アラバット島ペレーズ地区において、貧困層の子どもを対象とした奨学生プログラムを開始するとともに、奨学生会及び保護者会を組織して子どもたちの権利と福祉を実現するコミュニティの建設を目指している。本事業は、上記の奨学生会及び保護者会の活動を強化し、貧困層の子どもへの就学の機会を与えるだけでなく、健康的な家庭生活と子どもに優しいコミュニティの建設を実現するための活動の支援を行
支 援 予 定 額	773,920円

団 体 名	ACF JAPAN アジアこども基金
事 業 名	ネパール連邦共和国ヌアコット郡：乳牛及びバイオガス装置のマイクロクレジット事業を通して貧困農山村の育成自
活 動 地 域	ネパール共和国
事 業 概 要	本団体は、2007年からヌアコット郡カカニ地域で貧困農山村組合育成事業として、バイオガス装置の設置や乳牛の購入などためのマイクロクレジット事業等を行ってきたが、乳牛原価の高騰による資金不足のため、マイクロクレジット事業の遂行が困難な状況である。提案案件では、バイオガス装置の設置や乳牛の購入のためのマイクロクレジット事業の一層の充実を図り、植林による乳牛の餌の確保や崖崩れの防止に係る啓発に係る活動を支援する。
支 援 予 定 額	998,000円

2009年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告 (2008年度は[こちら](#))

12件 (順不同)

団体名	特定非営利活動法人 ディーピーアイ日本会議
事業名	障害者のニーズに配慮したHIV/AIDS教育モデル事業
活動地域	ブラジル連邦共和国
事業概要	本団体は、JICA草の根技術協力事業（「ろう者組織の強化を通じた非識字層の障がい者へのHIV/エイズ教育」）の実施を通じて、ろう者自らがHIV/エイズに関する情報をろう者に伝えるための教材や手法を開発してきた。本事業では、この経験と蓄積をベースに、ろう者以外の非識字の障がい者に対するHIV/エイズ予防啓発のための教材や研修手法の開発を、ろう者以外の障がい者団体からの協力も得つつ行なう。
支援予定額	1,000,000円

団体名	ハイチの会
事業名	ハイチの貧しい子供たちの初等教育を支援する事業
活動地域	ハイチ共和国
事業概要	本団体は、ハイチ共和国エンシュ市に小学校を建設したが、在籍する約300名の児童の家庭は貧しく、週2回の学校給食が大事な栄養源となっている。本事業では、学校周辺の農地や家庭で採れるマニョック芋をキャッサブ（パン）に加工する調理場を学校内に設置し、キャッサブを日常的に給食として提供することを通じて児童の栄養改善を図るとともに、マニョック芋を生産する貧しい農民の生計向上にも資することを目的とする。
支援予定額	ハイチ大地震の影響により事業中止。

団体名	特定非営利活動法人 アマニ・ヤ・アフリカ
事業名	貧困に苦しむ子供たちへの中等教育奨学金支援事業
活動地域	ケニア共和国
事業概要	ナイロビ市キベラ地区にあるマゴソスクールは、孤児やストリートチルドレンも受入れている貴重な小学校（8年制）であり、本団体は同校の開設準備から支援を行ってきた。しかし同校の児童はセカンダリースクール（4年制）への進学を希望しても経済的理由から叶わないことが多いため、そのような児童への奨学金（授業料、制服、文房具）提供を通じ進学を支援し、進学を目指す児童たちが将来に希望を持つことを目指す。
支援予定額	317,330円

団体名	スランガニ基金
事業名	子どもたちの健康診断と継続治療事業
活動地域	スリランカ民主社会主義共和国
事業概要	本団体は、スリランカの貧しい子ども達に教育資金を支援する里親事業を続けている。昨年度はJICA基金を活用し、支援を受けている子ども達の健康診断を実施し、子ども達の健康状態の確認と様々な持病の早期発見を行なうことができた。しかし、病気が発見された子ども達に精密検査や治療を行なうためには高額な費用がかかり、貧しい家庭では負担ができないため、この費用を支援するとともに治療状況のモニタリングを行なう。
支援予定額	1,000,000円

団 体 名	加藤 悦子
事 業 名	ルワンダ共和国・キガリの元ストリートチルドレン自立支援プロジェクト
活 動 地 域	ルワンダ共和国
事 業 概 要	提案者は、2006年から2年間、ルワンダ国のストリートチルドレン保護施設において青年海外協力隊員として活動した。派遣期間中に、元ストリートチルドレンが牛の角を加工して作る工芸品の工房を立上げたが、その後機材が壊れたり、事業も安定しなかったため、協力隊の活動終了後も、提案者が定期的にルワンダを訪問し支援を行ってきた。本事業では、彼らが自立的に使えるような機材を供与し、工房の活動の安定に資する。
支 援 予 定 額	213,510円

団 体 名	開発と権利のための行動センター
事 業 名	グアテマラ国・コツアルの若者グループに対するPC操作研修と事業実施を通じての組織強化事業
活 動 地 域	グアテマラ共和国
事 業 概 要	キチェ県コツアルは、内戦で大きな被害を受けた上に貧しい地域であり、さらに近年は暴力的な若者グループが増えて大きな社会問題となっていた。こうした中、本団体では、若者の社会参加促進と平和的な文化の醸成に向けて支援を行ってきており、本事業では、同地域の若者グループに対して基本的なパソコン技術の研修を行ない、研修のプロセスを通じてグループの組織強化と、若者達の雇用機会の拡大を目指す。
支 援 予 定 額	790,000円

団 体 名	特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会
事 業 名	現地NGO「シオンダニ・シオンスタ」が運営する母子保健センターの職員の能力向上を目的とした研修事業
活 動 地 域	バングラデシュ人民共和国
事 業 概 要	本団体は1995年にバングラデシュのカラムディ村に「母子保健センター」を開設し、村人の診療、出産介助、妊産婦・乳幼児健診、巡回健診等へ支援を行ってきたが、看護師が不足しているため村出身のソーシャルワーカー等がその代わりの多くを担っている現状にある。本事業では、そのようなソーシャルワーカー等に対し、現地NGOの「シオンダニ・シオンスタ」と共同して母子保健・衛生教育に関する専門知識の研修を行なう。
支 援 予 定 額	989,000円

団 体 名	オヴァ・ママの会
事 業 名	就学困難児童事業
活 動 地 域	スリランカ民主社会主義共和国
事 業 概 要	本団体は、スリランカ国のマータラ県に1994年に開設したホームレス児童の養護施設「オバ・ママ チルドレンヴィレッジ」の運営を支援してきたが、2004年12月のインド洋巨大津波災害は、施設のある集落の一般児童の生活状況も大きく悪化させ、施設に養育される児童との格差が顕著になりつつあった。このため、本事業では施設のある集落の一般児童に対して奨学金や文房具を支給するとともに、施設内の図書室の児童書を充実させ、集落と施設双方の児童の交流と学習の場にするを目的とする。
支 援 予 定 額	1,000,000円

団体名	ACF(Asia Children Fund) Japan : アジアこども基金
事業名	ネパール国ヌアコット郡：乳牛及びバイオガス装置材料のマイクロクレジット事業を通して貧困農山村組合の育成自立を支援する
活動地域	ネパール王国
事業概要	ネパール国ヌアコット郡カカニ地域は、交通不便で行政や援助機関による支援がほとんど届かない未電化農村地域であり村民は常に貧困状態に陥っている。本団体は、同地域において2007年から乳牛の購入や牛糞を利用するバイオガス装置の設置を支援するマイクロクレジット事業等を展開してきたが、資金不足のため、本事業ではクレジット原資を提供し、村民の乳牛購入とバイオガス装置の設置を支援し、村民の栄養改善、家庭用燃料の提供、森林保全、衛生環境の向上に寄与する。
支援予定額	987,400円

団体名	特定非営利活動法人 アフリカ地域開発市民の会 (Can Do)
事業名	ケニア・ムイギ県ミグワニ郡における地域社会へのエイズ教育事業
活動地域	ケニア共和国
事業概要	本団体は、ケニア国東部州ムイギ県で1998年から住民の参加型社会開発の支援を行っているが、最近では日常化しつつあるHIV/エイズに対する住民の危機意識が先行し、間違った知識の広まりや感染を疑う住民に対する社会的排除なども生じている。こうした状況に対し、本団体では同県グニ郡等において住民へのエイズ教育支援事業を実施し、評価を得てきたところ、この経験を活用し、本事業により要望のあった同県ミグワニ郡における住民参加型のエイズ教育事業の導入を行なう。
支援予定額	998,250円

団体名	特定非営利活動法人 国際交流は子どもの時から・アジアの会
事業名	女性の職業訓練事業
活動地域	モンゴル国
事業概要	本団体では、ウランバートル市バヤンズルフ区のゲル地区において、収入が無く貧しい母子家庭の母親が現金収入を得られるよう、区役所と共同で職業訓練の支援を行ってきた。現在、母親たちは羊毛のフェルト製品を作っているが、デザインと品質が劣るため売上げは伸びていない。このため、本事業により品質が高く安価なフェルト製品を作ることができるよう母親たちに計画的な職業訓練を行ない、製品の販路の確保と母親たちの収入確保に寄与することを目指す。
支援予定額	825,000円

団体名	特定非営利活動法人 環境修復保全機構
事業名	地域問題解決を目指した学校菜園を活用した環境教育プログラムの作成支援事業
活動地域	カンボジア王国
事業概要	現在、カンボジアの主要産業である農業では化学肥料や農薬の大量使用が問題となっており、それが土壌の劣化や水環境の変化、ひいては生態系や生活環境に悪影響を及ぼしている。本事業ではプノンペン市と農村地域のコンポンチャム州の小学校をモデルに、こうした環境劣化や、学校に通えない子ども達が存在する貧困などの地域の課題に目を向ける環境教育活動を行なえるような小学校教員の能力開発に対する支援を行なう。
支援予定額	997,000円

2008年度 世界の人びとのためのJICA基金 支援案件のご報告

9件（順不同）

団体名	NPO法人エルピス会・障害者自立支援施設“聖マルティン”の家
事業名	知的重複障害者向けリハビリテーション及び教育用施設建設プロジェクト
活動地域	ボリビア
事業概要	ボリビア国の特に貧困層が集中する鉱山地域や地方からの障害者に対して、10年間で約150名の障害者の治療やリハビリテーション、教育活動を実施してきている。今回の事業においては、貧弱な施設環境の改善のため、リハビリテーション用の新施設と学習活動用の教室新設の支援を行なう。
支援予定額	500,000円

団体名	（特活）国際子ども権利センター
事業名	カンボジア国スバイリエン州における子どもの人身売買を防止するための奨学金事業
活動地域	カンボジア
事業概要	貧困地域であるスバイリエン州において、貧しさから学校に通わず出稼ぎに出されがちな少女たちに対し、奨学金の供与（約50名）を行なう。地域住民のリーダーと学校の子供たちに、人身売買・性的搾取・児童労働に関する啓発活動を実施し、子供の権利を守るネットワークの形成を目指す。また、貯蓄銀行・牛銀行を組み入れた収入向上事業の継続支援を行なう。
支援予定額	500,040円

団体名	スランガニ基金
事業名	貧困家庭の子どもたちへの健康診断と保護者と保育者への栄養指導
活動地域	スリランカ
事業概要	貧困地域の子供183名（4歳～16歳）に教育資金の提供を行なう里親支援を行なっているが、現地のコーディネーターである保育士の情報によれば、支援対象の子供たちが栄養不良、慢性疾患の状況にあり、治療を必要としているものの貧しさから病院に行っていない。6地区（158名）でメディカルキャンプ（巡回健康診断）を実施し、子供たちの健康改善と保護者に対して栄養や食事の指導に関する講義をうけてもらう。
支援予定額	510,600円

団体名	（特活）セカンドハンド
事業名	カンボジアのスラムで暮らす生徒への奨学金制度による就学支援
活動地域	カンボジア
事業概要	プノンペン市郊外のセンソック地域には、都市部の貧困層約5万人が居住している。その地域において、成績優秀でありながら経済的理由で通学ができない高校生（14名）に対し、奨学金提供による支援を行なう。奨学金を受けた高校生は勉強だけでなく、週数回は近くの集会所で地域の子供たちに勉強を教えるほか、衛生教育キャラバン等、ボランティア活動に参加し、地域に貢献する。
支援予定額	474,317円

団体名	(特活) 地球市民ACTかながわ/TPAK
事業名	ミャンマーサイクロン被害にあった孤児院の寮兼教室の再建
活動地域	ミャンマー
事業概要	2005年からミャンマー・ヤンゴン管区のタンリエン僧院孤児院において孤児たちの健康調査と衛生教育支援活動を行ってきたが、本年6月にサイクロンにより壊滅的な打撃を受けたため、施設(教室・寮)と給水用電気システムの改修・再建の支援を行なう。施設は災害時のシェルターとして、給水システムは乾季における地域のオアシスとして550世帯(約3,000名)の地域住民にも還元される。
支援予定額	500,000円

団体名	Chemchem ya Amani Tanzania (チムチム ヤamani タンザニア)
事業名	厳しい環境の中で生きる子どもや孤児、ストリートチルドレンに教育の機会を与える
活動地域	タンザニア
事業概要	キリマンジャロ州モン県モン市ンジョロ地区の貧しい子供たちやストリートチルドレンを対象に里親制度による奨学金支給(約50名)、無料教室(無料の学習施設 約60名)における学習活動とそれに必要な設備の充実、また子供たちの母親の生計改善のための職業指導を行なう。
支援予定額	236,000円

団体名	(特活) テラ・ルネッサンス
事業名	カンボジア地雷原周辺における村落開発支援プロジェクト
活動地域	カンボジア
事業概要	カンボジア政府の掲げる『2012年までに地雷犠牲者ゼロ』を達成するため、貧困から土地を求めて地雷原に入る被害を防ぐため、地雷原が残っている村の内、1村(約90世帯)を対象に住民参加型のマイクロクレジットを活用した収入向上事業を行なう。
支援予定額	500,000円

団体名	(特活) ぱれっと
事業名	障害者の社会参加と「スリランカぱれっと」の継続支援事業
活動地域	スリランカ
事業概要	1999年からスリランカの障害者の自立支援のため、障害者によるクッキー製造工場における運営・技術支援を行っているが、昨年末からの政情悪化と物価高騰のあおりを受けている。販路の拡大のためには専門のスタッフによる営業・広報活動が必要なため、これにかかる支援を行ない、障害者の自立を支える。
支援予定額	520,033円

団体名	LOOB JAPAN
事業名	ごみ投棄場周辺住民の裁縫事業と子どもの教育支援
活動地域	フィリピン
事業概要	イロイロ市のカラフナン村周辺は、住民3000人のうち約1000人がごみ投棄場からの資源ごみを回収し生計を立てている貧困地域であるため、同地域の住民の生計改善のための「裁縫事業」(リサイクル素材を利用した衣料製作)の支援、および子どもたち(小学生・高校生 計15名)奨学金提供などの教育支援を行なう。
支援予定額	500,000円